

## 音が「意味」するものとは 12

## 『和魂と幸魂と奇魂で世界を包む』

文 光吉俊二

text by Shunji Mitsuoyoshi

## 馬

鹿だなあ」という言葉は、優しく言えば「受容」、厳しく言えば「否定」になり、日本語の言葉の中に込められた意識である言霊としては真逆の意味になります。そのため、文字情報だけから正しい感情や心の状態を認識することは困難です。

私は音声から神経状態を分析して、心や感情、脳の状態を分析する科学技術を生みだしました。ここで、対象となった言霊の意味を考えてみましょう。

人は唯一絶対を求めるとき、自分の正当性を立証するために、自分と対立する存在の証を必要とすると言われます。これは、意図と呼ぶべきものです。そして、私はその文化の中で発明された「平等」という言葉には、対立する「不平等」の意図が隠れていることに気がついたのです。

実際、個性ある人間が平等を通すと「同じでない」故に不平等になります。しかし、分かり合い理解するというこ

とは、この差を受け入れて対象を包み込むことで、その結果すべての人類が納得し幸せにつながります。これは「平等」ではなく、「包み込む」のほうが正確かもしれません。

前号では、「主語を持たない言霊」である日本語によって世界を包み込める存在に日本は進化する必要があると述べました。クリスマスは、キリスト教が滅ぼしたミトラス（牡牛の頭の姿をした神）の冬至の祭りでした。そして、ミトラスのイメージこそ、いわゆる悪魔の姿です。しかし、日本民族はそんなことは気にせず、神への感謝の祭りとしてこの行事を包み込み、受けいれてきました。

できることなら、明治憲法で統治された時代のように日本語を話して価値観を共有できたら、すべての人々を仲間として包み込む大きな気持ちで国を運営できると思います。

今こそ優しい「言霊」を和魂とよび、

これが幸魂や奇魂という幸福や奇跡を生み出すとしてきた日本民族を信じる必要があるでしょう。

しかし、あまりに理不尽なことを要求され続けると荒魂という侍の本質も出てくるので、相手にそれを理解してもらい必要があるあります。

それが、モノノフ（荒魂）の粋（和魂）ではないでしょうか。

## Profile

日本の情報工学者であり彫刻家。北海道札幌市出身。多摩美術大学美術学部彫刻科卒業。徳島大学大学院工学研究科博士後期課程修了、現在、博士（工学）。元スタンフォード大学バイオリポティクス研究所 Visiting Scientist（客員科学者）。現在、東京大学非常勤講師、株式会社AGI代表取締役である。専門は、ST（Sensibility Technology）感性制御技術・VER 音声感情認識技術、音声脳神経分析技術。

